

選べる大腸がん検診（集団・郵送）

- ①集団健診の場合：裏面の予約期間中に予約し、検診会場で採便容器を提出。
- ②郵送検診の場合：検診案内が届いてから予約し（11月頃）、採便容器をポストへ投函。
- ★集団健診・郵送検診いずれも、予約された方のご自宅に検便容器が届きます。
検便容器の配布は役場や野方支所では行いません。
- ★令和6年度より、郵送検診は検査料のほかに振込手数料が別途かかります。



子宮頸がん・乳がん検診

- ◎完全予約制です。予約方法等は、対象者に7月頃に送付する案内をご確認ください。
- ◎医療機関検診（8月～1月）

検診実施日	曜日	検診会場	検診機関	対象者
9月	1日	日	保健センター	子宮頸がん： ヘルスサポートセンター 鹿児島 乳がん： 相良病院
	2日	月	保健センター	
	3日	火	（午前）大丸改善センター	
	3日	火	（午後）菱田改善センター	
	13日	金	野方改善センター	
	28日	土	保健センター	
11月	2日	土	保健センター	
	3日	日	保健センター	

巡回肺がん検診

- ◎巡回肺がん検診は予約不要です。

検診実施日	曜日	検診会場	検診機関	対象者
11月	14日	木	集落の公民館や 改善センター等	65歳以上の 肺がん検診未受診者
	15日	金		
	19日	火		
	20日	水		

歯周病・口腔内検診

- ◎対象者には受診票を4月に送付します。
（対象者：令和6年度に20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳になる方）
- ◎歯科医院に予約し、受診票を持参して受診してください。
- ◎検診料金：無料

40歳になったら がん検診

- ・近年の日本では、2人に1人が「がん」にかかると言われており、がんは日本人の死因第1位となっています。
- ・がんは禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって、「なりにくくする（予防する）」ことができる病気です。しかしそれらを心がけていても、がんに「ならないようにする」ことはできません。そのため、定期的に検診を受けることが大切です。
- ・がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見のため必ず毎年定期的に検診を受けてください。

「自覚症状が出てから」では手遅れ

死亡者が多いがんの順位 ※1

	1位	2位	3位	4位	5位
男	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女	大腸	肺	膵臓	乳	胃
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

※1 人口動態統計（2022年）

早期発見で治す！それにはがん検診！

- ・がんを早期に発見するため、定期的ながん検診を受診しましょう。
- ・検診で「要精密検査」となった場合、必ず精密検査を受けましょう。
胃がん検診精密検査：胃内視鏡検査
肺がん検診精密検査：CT または気管支鏡検査
大腸がん検診精密検査：全大腸内視鏡検査
- ・症状がある場合は、検診を待たずに、医療機関を受診してください。

がん検診を受ける前に知ってほしいこと！！

- ・肺がん・胃がん・大腸がんはがんによる死亡原因の上位です。町で実施している検診は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検査です。早期発見、治療で大切な命を守るために、40歳以上の方は毎年定期的に検診を受診してください。「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしてください。
- ・すべての検診には「デメリット」があります。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できません。検査では見つけにくいがんもあります。すべてのがんが検診で見つかるわけではありません。また、がんでなくても「要精検」と判定されたり、放置しても死に至らないがんが見つかったために、不必要な治療を受けなければならない場合もあります。しかし、検診はこれらの低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されているため、必ず定期的に受診してください。